

## 神奈川大学派遣交換留学生 近況報告書（初回）

所属	外国語学部	英語英文学科	学科 専攻
派遣先大学 (国)	ミコラス・ロメリス大学 (リトアニア)		
所属プログラム・ 学部・研究科	Institute of Humanities		
報告書提出日	2019年9月22日		
留学予定期間	2019年8月～2020年6月		

### 1. 渡航について

#### 1.1. 出発前の準備

出願料・宿舎デポジット： 100 (€) /合計

航空券代： 164,280 (円) /合計

ビザ申請関連費： 910 (交通費のみ) (円) /合計

その他 (英文残高証明書)： 540 (円) /合計

その他 (海外送金手数料)： 247 (円) /合計

ビザ取得の際に残高証明書は必要でしたか？ はい いいえ

「はい」の場合、いくらの残高証明書を作成しましたか？ 約 5500 (€) /合計

4月：1日から大学の公式サイトの上オンライン申請ページが公開。17日までにオンライン申請を行いました。申請の際に、留学期間分全ての授業予定を申請する必要があるため、早めに授業のシラバスなどを読み込んでおいた方がいいと思います。半期 25-30 クレジット分申請する必要がありますが、取りたい授業はすべてチェックしておいた方がいいです。来てから時間割が発表されるので、上限を気にせず興味あるものは全て目をつけておいた方が授業被りの際にスムーズに対応できると思いました。この申請は最終〆切まで何度でも編集できます。また、Motivation 項目(300 文字以上 1500 文字未満、words じゃないので注意)があるのであらかじめ考えておいた方がいいです。

また、国際センター経由で留学中の先輩とコンタクトを取り、質問させてもらいました。

5月下旬：アプリケーション受け取りの確認メールが届く。また、ビザの申請に航空券が必要だったため、早めに購入しました。変更可能チケットという指定があったため、JAL 公式ページからロングステイ運賃で予約を行いました。

6月半ば：Official Facebook グループへの招待が来る。様々な情報がアップされるので、アカウントを持っていない人は作っておくと便利かと思います。特に、Introduction week に入ってから、Facebook グループで連絡が来るようになります。

6月下旬：Learning Agreement と Acceptance Letter が届く。LA に関しては、国際センターの担当者の方のサインと自分のサインをして申請サイトへアップロードする必要がありました。

7月上旬：D (長期滞在)ビザ申請時に必要な書類 (リトアニア語)が届く。

7月下旬：ビザ申請。ビザ申請の際、英語で大使館へ面接の予約メールを送りました。ただ、大使館からの返信が1週間経っても来なかったため、最終的には直接電話をしました。また、大使館の公式ペー

ジにある URL から事前に必要事項を記入し、提出したものを印刷する必要がありました。  
申請時に提出した書類→大使館 HP に書かれている必要書類+リトアニア語で書かれた書類（前述したもの）ビザ自体は面接後、1~2 週間以内に届きました。その後、MRU のコーディネーターにメールで VISA の提出を行いました。

寮費の Booking fee 支払い。海外送金で指定口座に送金します。私は TransferWise を利用しました。そのため、安く送金できたと思います。本人確認の際にパスポートの写真欄と住所欄（記入しておく）を提出する必要があったので、申請前にスキャナーで取り込んでおけばよかったなと思いました。送金自体は 2-3 営業日ほどで完了しました。

留学していた先輩が帰国したため、直接会ってお話を聞きました。

8 月上旬：メンターからメールが届き、Introduction week の詳細と information も届きました。指定到着日にもオリエンテーションがありますが、正式なものは指定日の翌日からなので出る必要はありません。実際、私自身到着したのが指定日の夜でしたが何の問題もなかったです。

## 1.2. 渡航について

搭乗便は成田空港 9:50 発ヘルシンキ経由でした。自宅から成田空港までは、両親に自家用車で送ってもらいました。予定時刻よりも早めにヘルシンキに到着したため、実際の乗り継ぎ時間は 3 時間ほどでした。空港内を歩き回って時間を過ごしました。乗り継ぎ便ゲートが降り口から離れていた上に、分かりづらく、またパスポート審査の際に機械の不具合が起きやすいため、遅くても 1 時間以上前にはパスポートゲートを抜けた方がいいと思います。ヘルシンキからの出発時刻が大幅におくれ、約 1 時間遅れでヴィリニウスに到着しました。到着は大学から指定されていた到着日の 19 時ごろでした。ヘルシンキでの乗り継ぎの際に同大学に留学予定の日本人学生 3 人とたまたま合流し、うち 2 人はコーディネーターも同じだったため、Bolt(タクシー)を使い、寮まで向かいました。金額は大型車に 3 人で 13€程度でした。

## 2. 到着後の手続きについて

### 2.1. 寮・ホームステイ等への入居手続き

到着したのが、寮母さんが帰った後だったため、翌日の朝手続きに向かいました。警備員さんが 24 時間入り口にいるので、寮への入寮は何時でも大丈夫です。着いた時、警備員さんに自分の名前を伝えたのちに寝具と部屋のキーをもらい、パスポートを一旦預けた後、部屋に入りました。

翌日、寮母さんの部屋へ行き、必要書類に記入をしました。手続き後はカードをもらいます。これがないと、入り口の鍵を開けてもらえないので持ち歩く必要があります。昼間は大丈夫ですが、深夜に帰宅の場合は要注意です。前もってどの部屋がいいか申請できますが、あまりあてにならないです。

寮費は 3 人部屋共同シャワー、トイレ、キッチンで、半期ごと 425€です。（2 人部屋共同シャワー、トイレ、キッチンの場合は 500€）基本は半期ごとに支払いですが、申請すれば月ごとでも払えます。ただ、忘れると面倒臭いので一度に半期分支払いしました。支払いは振込か FoxBox (現金のみ、50€以下の紙幣のみ使用可) という機械(大学内にあります)で行います。振込は手数料がかかるかの確認ができなかったため、あらかじめ寮費分の現金を持ってきておいて FoxBox で支払いしました。

私の階は、トイレは 2 部屋で共同、シャワーとキッチンはフロアの各棟で共有です。階によっては男女共同階なこともあるので、トイレを異性と共有する可能性があることをある程度覚悟はしておいた方がいいです。

寮自体は A 棟と B 棟に分かれています。ちなみに A 棟は Wi-Fi の接続が最悪です。（私は運良く B 棟でしたが、友人は A 棟でした）

部屋によってベッドの位置などが若干違います。また、前の住居者によっては棚やクローゼットがとても汚かったりします。着いた初日は掃除から始めました。私の部屋は 3 人部屋ですが、運良く 3 人目がないので現在は 2 人で使用しています。ルームメイトはカメルーン人で、ERASMUS（ヨーロッパでの交換留学生のこと）ではなく Full-Time Student です。

## 2.2. 滞在許可・外国人登録の手続き

日本でビザの申請をしていたので特にありません。ただし、日本の外務省へ在留届をネット上で提出する必要があります。

## 2.3. オリエンテーション・学生登録・プレイスメントテスト等の学内手続き

8/26：指定到着日

8/27：最初のガイダンス Welcome meeting や大学のアカウントの登録の仕方などの説明など Introduction week での小旅行の申し込みなど

8/28：ガイダンス 2 警察官から安全や交通機関に関するガイダンスや図書館の使い方について

8/29：Trakai への日帰り旅行

8/30-9/1：Druskininkai への旅行（8/27 に 30€ 支払）

9/2：International Lunch 各国同じ国の人と協力して、自国の料理を振る舞う

私たちは、お寿司 2 種（漬けサーモン、パプリカのマリネ）とおにぎり 2 種（天かす醤油、梅しそ）を提供しました。

## 3. 目標について

### 3.1. 留学の目的、達成目標

帰国後 TOEIC900 点を目指す。また、現地の言葉であるリトアニア語を習得し、街中で問題なく買い物ができるレベルまで持っていけるようにする。なるべくいろいろな国の人と関わり、各国の文化や習慣についても学びたい。また、この機会に他国の言葉も友人に教えてもらい、いろいろな言語に触れるようにする。

### 3.2. これまでの学習・研修目標および達成度について

留学が決まってからは、同時期に留学が決まった友達と連絡を取る際には、お互いに英語で連絡しあい、なるべく英語を使った生活に慣れるようにした。またリトアニアについて、いろいろ調べ事前情報を蓄えた。

小さい頃からネイティブによる英会話に通っており、耳は英語に慣れていたので、リスニング面では今のところ不便は感じていません。ただ、語彙力が少ないので自分の意見を言う時に自分の言いたいことを言い切れないというもどかしさを感じています。また、text-message では問題なくとも、いざ喋るとなると知っている単語でも焦って出てこなかったりするので、まずは英語を話すことに慣れるのと語彙力を増やしていきたいと思います。

### 3.3. 今月の学習・研修目標

出来るだけ多くの人と会話をする。専門的な話になると、聞き取れても単語の意味や先生の意図がわからないので、積極的に先生に質問しに行く。他国の友達もいる時は、日本人同士でも英語で会話しているが、日本人だけの時は日本語を使ってしまうため、日本人だけの時でも日本語の使用しないようにする。幸い、すでに多くの他国の友人がいるので、その子たちとの関わりを増やしていきたい。

## 4. 学修について

### 4.1. 授業時間割

現在の学期	前学期 week1
月	UK and USA Country Studies (12:30-14:00), Basic Lithuanian (14:30-16:00)
火	Modern English1 (9:00-10:30), Modern English1 (10:45-12:15) Introduction to Linguistics (12:30-14:00), Basic Lithuanian (14:30-16:00)
水	Modern English1 (10:45-12:15), Modern English1 (12:30-14:00) UK and USA Country Studies (14:30-16:00)
木	
金	
土	
日	

現在の学期	前学期 week2
月	Introduction to Linguistics (12:30-14:00), Basic Lithuanian (14:30-16:00)
火	Modern English1 (9:00-10:30), Introduction to Linguistics (10:45-12:15) Modern English1 (12:30-14:00), Basic Lithuanian (14:30-16:00)
水	Modern English1 (10:45-12:15), Modern English1 (12:30-14:00) UK and USA Country Studies (14:30-16:00)
木	
金	
土	
日	

### 4.2. 授業について

各授業 90分 1コマ

Introduction to Linguistics (week1 : 1コマ, week2 : 2コマ)

レクチャーとセミナーに分かれており、レクチャーでは講義形式、セミナーではあらかじめ読んできたものや用意した回答を元に討論やグループワークなどを行います。レクチャーの後のセミナーでは、各自復習をしてくることを前提に、話し合いを行うのでしっかりと予習復習する必要があります。ある程度知識がある状態の方がわかりやすいです。

### Modern English1 (週 4 コマ)

Phonetics と Language in use の 2 つに分かれて授業が展開されています。

Phonetics は、資料を読んで発音の仕方を確認したり、発音の矯正を行っています。まだ始まって 2 回ほどしか受けていないので詳しい内容はわかりません。

Language in use の方は、先生の問いかけに対し、答えていくというコミュニケーション形式で行われています。今はその中で誤った文法や単語の使い方が出ると、その都度解説していく、という形です。今後はテーマなどを決めてディスカッションをするそうです。詳しいことはわかりません。最初の授業で、なぜ日本から来たのかと驚かれて、1 週間後の授業日に日本紹介のプレゼンを課されました。次回以降、2 国ずつプレゼンを行うことになっています。

### UK and USA Country Studies (week1 : 2 コマ, week2 : 1 コマ)

先生がリトアニア語の授業と同じなため、質問もしやすく、英語もわかりやすいです。レクチャーとセミナーに分かれており、レクチャーは講義形式で行われています。セミナーでは現在、プレゼンを行っている最中です。英語はわかりやすいですが、扱っているテーマがテーマなので政治用語などが多く、わからない単語が多く出てきます。そのため予習が必要です。各国に関する知識があると楽かと思われ  
ます。

### Basic Lithuanian (週 2 コマ)

文法はあまり扱わず、会話がメインの授業です。自己紹介の仕方から入りました。今現在、自己紹介はリトアニア語でできるところまでできています。レクチャー→実践という形になっているので、覚えやすいです。教室内を歩き回って生徒同士で、リトアニア語で会話を  
する練習をしたり、ペアワークが中心  
になっています。

## 4.3. 予習・復習・自習について

### Introduction to Linguistics

毎回課題が出されますが、提出課題というよりは、授業の予習範囲を指定されているような形式です。ただ、毎回量が多いため、計画的に行う必要があります。調べ学習も多いです。課題の内容は、指定されたものを読んでまとめてきたり、出された質問の回答を用意してくるなどです。

### Modern English1

Phonetics では、指定された範囲を音読し、発音を理解した上で授業に望むことが前提となっています。暗記してくる課題なども出されます。Language in use の方では、文法プリントが配られたり、事前に投げかけられた質問について考えてくる、といったものが多いです。

### UK and USA Country Studies

課題の頻度はわかりませんが、初回から課されました。イギリスのあまり知られていない都市のプレゼンと、質問に答え、提出するタイプの課題です。提出するタイプの課題は、調べるのも難しく、時間をかけないと完成しないものでした。調べ学習では、一般の人が知らないような新しい知識を身につけてもらうのが目的だと言っていました。そのため毎回難しい課題が出されるような気がしますが、自分のためになると思います。

## Basic Lithuanian

提出課題はありませんが、習ったことを街中で実際に使ってみる、という課題があります。そしてその体験を授業でクラスメイトに共有しあうことが多いです。また、授業の最初に今までの授業の復習として、質問を投げかけられるのでしっかりと復習することが必要です。

## 5. 生活について

### 5.1. 衣食住について

住居	寮（その他： ）
----	----------

来てから1週間経ったくらいに体調を崩しました。といっても、喉を痛めたのと、ただの睡眠不足です。生活環境の突然の変化と、Introduction weekの間は授業もなかったので友人たちと遅くまで出かけていたのが原因だと思います。寝るときはマスクをするようにしています。持ってきた薬が役に立ちました。

SIMを最初に配られるとのことでしたが、配られたSIMは課金しなければいけないタイプなので、スーパーなどで初月8GBのものを購入し、毎月買い換えた方が安いと思います。ただ、寮の部屋がA棟だった場合はWi-Fiがしょっちゅう切れるそうなので、配られたSIMを使ってもいいかもしれません。Wi-Fiはカフェや特定のバスではほぼ繋がります。カフェのものに関しては鍵がかかっているのを店員さんに聞くと教えてくれます。歩いている最中は、SIMがないとほぼ使えないと思います。（試していないのでなんとも言えません）バスのWi-Fiも乗っている最中しか使えません。

市内の移動は、バスかタクシー（BoltかUber）が中心です。止まっているタクシーに乗るのはお勧めしません。バスは一律1€（学生は50¢）で乗るか、定期券を利用します。学生証の代わりにISIC（国際学生証）を作る必要がありますが、こっちにきてからISIC（国際学生証）を作ると、安い上にISICとバス定期の機能がセットになっているので日本で作っていかない方がいいです。ちなみに発行の申請はこちらにくる前にFacebookでお知らせが来るのでそこで行います。（申請忘れても旧市街地のofficeに行けば発行できる）私は事前にISIC（国際学生証）を持っていたので、後ほどバス定期を購入しました。

### 5.2. 課外活動について

休日は、友達と近くのショッピングモールへ行ったり、街へ出てカフェでお茶しながら課題を行ったりしています。市内にはカフェが多くあるので、いろいろなカフェを開拓する予定です。この前は映画を見に行きました。音声は英語、字幕はリトアニア語のため、リトアニア語の勉強にもなりました。（覚えたのは汚い言葉でしたが）また、来月は週末に旅行に行く予定も立てています。

### 5.3. 現在までの感想

今のところほぼ毎日自炊しています。日本人の子と調理器具や調味料をシェアしつつ、夕飯だけは一緒に取っています。そのためか、未だにホームシックやつらくてしんどい、日本に帰りたいといった感情は皆無です。日本から持ってきたものや、こちらで手に入るものを使って1週間に1度ほど日本食を作って食べているのも理由の一つである気がします。また、街に出れば、想像以上に日本食レストランや寿司屋があるからかもしれません。

日本食に関してですが、米と醤油、うどんなどは近くのスーパーで購入できます。日本で買うのと比べると高いですが、それほど高くはありません。また、空港前に IKEA があるので、調理器具もそんなに持ってくる必要は無いと思います。ただ、米のカップや割り箸などはあると便利です。味噌も街へ出れば買えますが、高いです。なので、持ってくるか、日本食レストランに行った方がいいです。KAMIKAZE というところがそれほど高くもなく、かつ美味しいのでオススメです。

物価が安いことで、つい色々買って、食べ過ぎています。食事の心配はありましたが、こちらの食べ物は比較的日本人に向いている味付けのものが多い気がします。（私が割となんでも食べられる性格だからかもしれませんが）デザートなども、甘いものが嫌いな私でも、つつい食べ過ぎてしまうくらい、ちょうどいい甘さです。体重は変化していないのに、顔周りが丸くなった気がします。安くて美味しいものが多いので、栄養不足の心配はなさそうです。

また、14:00-14:30 の 30 分しか昼休みがないので、授業のある日のお昼をどうするかが目下の悩みです。

リトアニアの料理についてですが、Cepeliną がとても美味しいです。これがメニューにあると絶対頼むくらい美味しいです。ただ、2 つ食べると（多すぎて）お腹が苦しくなります。Šaltibarščiai は好き嫌い分かれそうな味でした。感想としては、しばらく経ったらまた試したい、です。Kibinai はロシアのピロシキと似ています。パンは硬めでしたが、美味しかったです。

近くにスーパーがあり、バスで 15 分のところにはショッピングモール、30 分乗れば市内へ出られるので割と快適な生活ができていると思います。

以上

## 神奈川大学派遣交換留学生 近況報告書 (11月)

所属	外国語学部	英語英文学科	学科 専攻
派遣先大学 (国)	ミコラス・ロメリス大学 (リトアニア)		
所属プログラム・ 学部・研究科	Institute of Humanities		
報告書提出日	2019年11月19日		

### 1. 目標について

#### 1.1. 留学の目的、達成目標

帰国後 TOEIC900 点を目指す。また、現地の言葉であるリトアニア語を習得し、街中で問題なく買い物ができるレベルまで持っていけるようにする。なるべくいろいろな国の人と関わり、各国の文化や習慣についても学びたい。また、この機会に他国の言葉も友人に教えてもらい、いろいろな言語に触れるようにする。

#### 1.2. 先月の学習・研修目標および達成度について

出来るだけ多くの人と会話をする。専門的な話になると、聞き取れても単語の意味や先生の意図がわからないので、積極的に先生に質問しに行く。他国の友達もいる時は、日本人同士でも英語で会話しているが、日本人だけの時は日本語を使ってしまうため、日本人だけの時でも日本語の使用しないようにする。幸い、すでに多くの他国の友人がいるので、その子たちとの関わりを増やしていきたい。

#### 1.3. 今月の学習・研修目標

ルームメイトと積極的に会話を交わすことで、英語をより日常的なものにする。期末に向けての勉強や課題を計画立てて行うようにする。

### 2. 学修について

#### 2.1. 授業について

##### Introduction to Linguistics

基本的な内容としては、言語学を広く浅く扱っています。英文科の英語学概論と似ています。現在は意味論を扱っています。中間試験も終わり、セミナーでは与えられたテーマに沿って、7-10分のプレゼンテーションを行なっている最中です。理解度としては60-70%程度です。



### Modern English1

Phonetics の方では中間試験が終わり、新しい範囲に入っています。基本的には発音気管や発音記号、発音方法などを扱っています。Language in use の方では、中間試験として 800 字程度のエッセイ と 6-7 分程度のプレゼンを行ないました。時々、文法問題も扱っています。理解度に関しては、phonetics は 1 年と 2 年の前期で少し触れていたのと、わかりやすい単語（専門用語を除き）で話してくれるので概ね理解できています。Language in use の方は、少しスピードは速いですが、概ねついていけています。

### UK and USA Country Studies

中間試験とイギリスに関する範囲が終了し、現在はアメリカについて扱っています。先月にはアメリカ大使館からゲストを招きお話を伺いました。なかなかない機会なのでいろいろなことを質問することができました。理解度としては 60%程度です。復習できちんと理解するようにしています。

### Basic Lithuanian

中間試験は街中で、リトアニア語で注文から会計までを行ない、ビデオで撮影するというものでした。そこまで難しくはありません。メインの先生は会話重視なのでそこまで難しくありませんが、サブの先生が行なっている文法はとても難しくやや苦戦しています。ただもともと言語を学ぶことは好きなので楽しくやれています。ほぼ理解できています。

## 2.2. 予習・復習・自習について

### Introduction to Linguistics

以前からの通り毎回課題があります。授業のまとめや、調べ学習がほとんどです。現在は中間試験の結果が全クラスよくなかったため、中間試験の範囲の復習（つまり前半の復習）が出ています。

### Modern English1

Phonetics では詩を暗記し、発表するという課題がよく出ます。暗記した上で発音に注意しなければいけないので簡単とは言えませんが、そこまで難しくありません。

Language in use では基本課題は出ません。ただ授業ないで意見を述べたりする機会があるので次回のテーマを把握しておく必要があります。時々、エッセイやプレゼンを課されます。

### UK and USA country studies

課題に関しては 2 週間に 1 度のペースで出されています。大体が文章系かプレゼンです。終わったと思うと次のプレゼンがまっています。準備に時間がかかるものばかりですが、自分で調べアウトプットしているのでその分知識は身につけています。

### Basic Lithuanian

文法を扱ったときのみ課題が出されます。会話の時は基本各自家で練習してくるといった形です。

### 2.3. 語学力について

以前よりはスムーズに話せるようになってきたと思う。面白かったことや冗談などを友達と共有したり、かわせるようにはなってきた。また、ライティング課題も以前よりスムーズにかけるようになったり、英語でのプレゼンにも慣れ始めている。しかし、まだ学習の上では自分の考えていることをうまく伝えきることができていないのでまだまだ語彙力を増やす必要があると感じた。

課題が多く、とくにこれと言って語学（英語）の勉強はできていません。ただし、ルームメイトや友達と積極的に会話（チャットも含め）をするようにしています。

## 3. 生活について

### 3.1. 衣食住について

住居	大学寮（その他：      ）
----	-----------------

前のルームメイトが二人ともアフリカ人で常に何方かの友達が来るので、勉強に集中できず、少し迷惑していたため、仲のいい友達と共に部屋を移動しました。今は不自由なくやれています。ルームメイトとの仲は良好です。

ルームメイト次第で生活の快適さは変わることが多いので、少しでも不満を感じたら部屋の移動を考えた方がいいです。（入寮1ヶ月は変更できません）

シャワールームもキッチンも休日は清掃が入らないため汚いですが、平日は比較的きれいです。私は6階に住んでいましたが（現在は3階です）、いまだゴキブリは見えていません。キッチンの冷蔵庫にものを入れておくと時々誰かに食べられます。

### 3.2. 課外活動について

休日はカフェへ課題をしに行くか、友達と出かけたり、映画を観に行ったりしています。木曜と金曜には授業がないので、旅行にも出かけています。

### 3.3. 現在までの感想

前回も記述しましたが、未だにホームシックや辛くて泣きたいといった経験はしていません。充実しています。部屋もルームメイトも変えたので、いまは快適に過ごせています。変える前は夜寝れなかったり、虫（おそらくダニです）に刺されて大変でしたが、変えたことにより全て解決したので我慢はよくないです。こちらに来てから遠慮をすることが減ってきました。自分の気持ちを正直に伝えることが一番だと思います。その方が友達ともルームメイトともうまくやれるので参考にしてください。

リトアニアの人と関わる機会にはほぼないと言っていた先輩もいましたが、そんなことはないです。現地学生も他国から来た Full-time の生徒も ERASMUS の生徒も一緒に授業を受けているので、結局は自分がどう動くかだと思います。少なくとも私の仲良い友達のうちの一人でルームメイトでもある子はリトアニア人です。（正確にはポーランド人ですが、産まれた頃から頃からリトアニアに住んでいて彼女はポーランド語、ロシア語、リトアニア語、英語が話せます）

ホームページに載っている目安金額や過去の先輩方の報告書などを見てリトアニアを考える方も多いかと思いますが、金銭面で決めるのはお勧めしません。たしかに物価も安く、治安も比較的いい国なので留学にはオススメです、あくまでも娯楽に興味がない人に限った話になると思います。私はもともと高校生のおきからリトアニアという国自体に興味を持っていて、かつ友達が住んでいるので後悔など

はなく、自分の来たかった国で学習できていることを嬉しく感じていますが、ここは娯楽の多くない国です。なので友達と交流をしてみると言っても選択肢が絞られます。こちらでできた友人と旅行に出かけたり、遊びに出かける生活をしていたら他の国に行った場合とかかる金額はさほど変わらないです。なので、金銭面で決めるのではなく、本当にリトアニアに行きたいかどうか、留学先としてリトアニアを選んでいいのかをしっかりと考えてから出願すると思います。

以上